

CITIZEN®

温度・湿度計 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y1105)

アフターサービスについて

この製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

修理用性能部品（機構、電子回路）は製造打ち切り後、5年間を基準に保有しています。商品の状態によっては、現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

お問い合わせ先 **お客様相談室** **0120-557-005** (フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)
お問い合わせに際しては、製品裏面に表示してあります
製品番号(型番)をお伝えください。例. 9CZ○○○

安全にお使いいただくために (はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について


表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

 「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています (表示の一例です)。


 してはいけない「禁止」内容です。
 必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について

 小さな部品や電池は、幼児の手の届かない所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

分解禁止

 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス (+)、マイナス (-) を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 動いていても定期的に交換する。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かないところに置く。

電池の種類について


- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
③アルカリとマンガン乾電池の混在使用は、液もれの原因となりますのでおやめください。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、この製品には不向きですので使用しないでください。

取り扱いについて


電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

-  **注意**
- 電池に傷をつけたり、分解しない。
 - 本製品を使用しないときは、電池を取り外す。
 - 電池を充電しない。
 - 電池をショートさせない。
 - 電池を加熱しない。
 - 火の中に入れてない。

液もれが起きてしまったとき

 **警告** 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。


衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

 **注意** もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていただきますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置ききの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

■使用場所について

 **禁止** この製品は室内用です。屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中で使用しないでください。また、下記のようなところでも使用しないでください。部品の劣化、性能の低下、故障の原因になります。

- 温度が+50℃以上になる所。たとえば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下の所では、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- テレビ・オーディオ・OA機器など強い磁気を発生するところ。
- ほこりが多く発生する所。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよ汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 壁に掛けたときに、静電気により製品および壁面が汚れることがあります。定期的に汚れを落としてください。

製品・電池の廃棄について

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 本体から電池を取り外して、廃棄してください。

静電気の影響について

静電気により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。

おもな製品仕様

使用温度範囲 -10～50℃
使用湿度範囲 結露しないこと
使用電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 2個
電池寿命 約3年(常温中)
温度測定範囲 -12～52℃
測定精度 ±1℃
分解能 0.2℃
湿度測定範囲 10～90%RH 温度が5～50℃のとき
測定精度 ±3%RH 25℃、60%RHにおいて
分解能 0.5%RH
温湿度測定間隔 1分に1回
電池交換時期 時計の12時相当位置に針が停止お知らせ機能
防塵防滴機能 なし

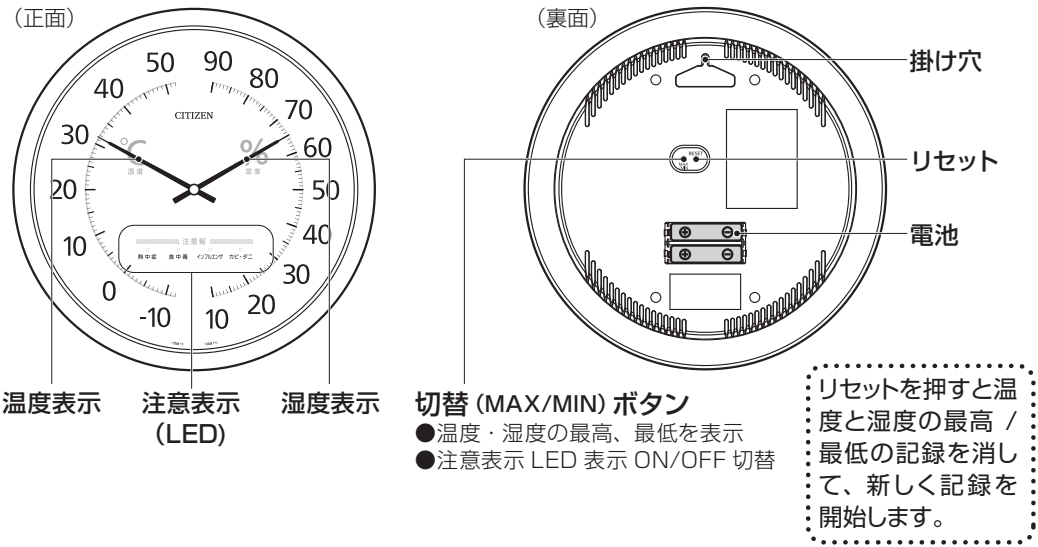
○温度・湿度センサーは経年変化により、精度が低下することがあります。
○製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
*分解能とは、針が動くときの刻みです。例えば、温度では0.2℃単位に針が動くことです。
*%RHは相対湿度の単位です。

③本製品を温度や湿度の証明など商取引に使用することはできません。
④この製品は医療や業務用として開発したものではありません。一般的な家庭やオフィス内の温度・湿度を調節するめやすとしてご使用ください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

●図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。

室内用で、防塵・防滴仕様ではありません。また、結露するところでは使用しないでください。故障や誤作動の原因になります。



温度、湿度表示

センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

温度・湿度の最高/最低表示

切替 (MAX/MIN) ボタンを押すと24時間以内の温度・湿度の最高と最低を知ることができます。

○切替 (MAX/MIN) ボタンを押すたびに最高→最低→現在の順に針の位置が切り替わります。

○放置すると約10秒後に現在の温度・湿度表示になります。

※温度・湿度の変化が少ないところでは、表示が変化しないことがあります。

※温度の最高または最低が測定範囲外の場合は、針は目盛りの無いところを示します。

※湿度は、測定できた値での最高または最低を示します。

注意表示

熱中症 食中毒 インフルエンザ カビ・ダニ

温度と湿度の状態が、上記注意事項に該当するときに、LEDが点滅します。

※表示により発生の有無を断定するものではありませんので、空調や体調管理などのめやすとしてお使いください。

※公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

◎注意表示の停止 LEDの点滅を止めることができます

切替 (MAX/MIN) ボタンを約2秒間押し続けると、ONとOFFが切り替わり、LEDにより、ON/OFFの状態を表示します。

ON LEDで注意表示します：LEDが4回点滅します。

OFF 注意表示をしません：4つのLEDが点灯して、1個ずつ消灯します。

※電池を取り外す、またはリセットを押すとONになります。

※最高または最低の温度・湿度を表示しているときには操作ができません。

ひとくちメモ

相対湿度

空気中にどれだけ水蒸気（水が気体になったもの）があるかを示すものです。

単位体積当りの空気に取り込める水蒸気の最大量は温度によって変わり、これを飽和水蒸気量といいます。この飽和水蒸気量と実際に空気に含まれている水蒸気量の比を百分率で表したものが相対湿度です。単位は「%RH」ですが、一般に、天気予報などでは、「%」が使われています。

結露

冷たい飲み物をコップに注ぐとコップの外側に水滴が付いたり、冬場に窓ガラスが曇る現象のことです。本製品に結露するとさびの発生、回路のショート、電池の自己放電が多くなるなど悪い影響を与えます。

熱中症

高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。気温、気流（風）、湿度、輻射熱の状態によっては、屋内外を問わず発生しやすくなります。こまめな水分補給、室温の調節、風通しをよくするなど体温の上昇を防ぐ必要があります。

食中毒

梅雨など高温多湿となると菌が増殖しやすくなります。

細菌による食中毒を予防する三大原則といわれているのは、

1. 菌を付けない（清潔にする）
2. 菌を増やさない（迅速に冷却、乾燥する）
3. 菌を加熱などで殺す

インフルエンザ

湿度が低いとインフルエンザウイルスの生存率を高めるとともに、鼻・喉・気管などにある粘膜の繊毛の働きを弱め、ウイルスによる感染が起こりやすくなります。

室内の湿度を調節したり、マスクを着用するなどの対策が必要になります。

カビ・ダニ

一般にカビ・ダニ等は、室温20～30℃、湿度70%前後が最もその生育に適した温湿度条件だといわれています。増殖を抑えるために、風通しをよくして、湿気がこもらないようにする必要があります。

使い始めるときまたは電池を交換するとき

1. 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、単3形アルカリ乾電池を2個入れる

電池の⊕⊖を逆向きに入れると電池の液もれ、発熱、破裂の原因になります。

2. リセットを押す

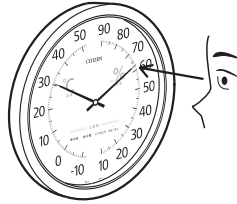
誤作動を防ぐために、電池を入れたあとは、必ずリセットを押してください。

LEDが4回点滅してから、針が回転して、その後に温度と湿度を表示します。

○設置場所の温度・湿度を反映するまでにはしばらく時間がかかります。

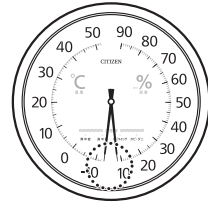
以上で設定は終わりです。 **設置について** に従って、掛けてお使いください。

正しく読み取るには



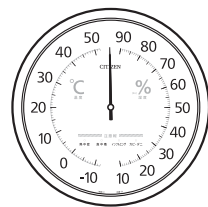
温度・湿度を読み取る際には、針の先には、目の高さを合わせてから読み取ってください。斜めから見ると、読み取り誤差が発生します。

測定範囲外の表示について



温度や湿度が測定範囲を超えたときには、左図の例のように、針は目盛りの無いところへ移動します。

電池の交換時期お知らせ機能



電池の残量が少なくなると、左図の位置に針が停止します。このような状態になったときには、すべての電池を新しいものに交換してください。放置すると、電池からの液もれが発生して、故障や家具や壁面などを汚す原因になります。



注意

電池からの液もれにより、修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、次のことをご守りください。

- 古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリ乾電池など種類の異なるものを混ぜて使用しない。
- 動いていても3年に1回、定期的に交換する。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

設置について

空気がよく循環する場所に設置してください。

直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

次のような場所では使用しないでください。

屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中

※設置する高さによっても温度・湿度が変わります。一般的な室内の低い位置では温度は低く、湿度は高くなります。

※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも、風通しのよい所と悪い所では違いがでます。



掛

掛け方が不適切な場合、落下する危険があります。



強制

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具がしっかり掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。



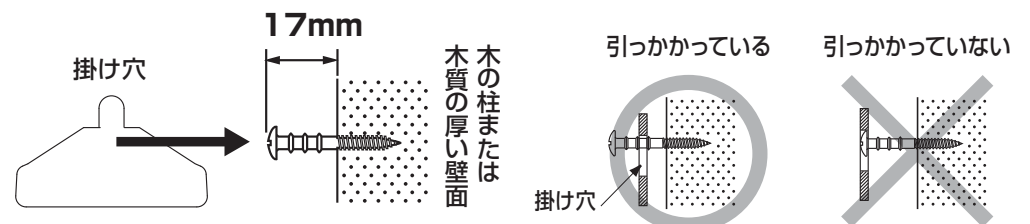
注意

○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

石膏ボードやコンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造に合った市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は落下する危険がありますので、使用しないでください。